



和(わ) 輪(わ)っ 笑(わ)らい いっぱい!

ともしびバラエティ劇場

第1部 おかしこぼなし・伝統あそび・わらべ唄など

第2部 オペレッタ「きつねの水あめ」

日本に伝わるお話、遊び、歌をオペレッタ劇団ともしびが今によみがえらせ、
楽しい舞台を作り出します。
いつの間にか心がつながり、笑顔が広がります。

オペレッタ劇団ともしび

171-0033 東京都豊島区高田1-12-17
電話03-6907-2731 FAX03-6907-3812
<http://www.tomoshibi.co.jp> Email info@tomoshibi.co.jp



和(わ)っ 輪(わ)っ 笑(わら)い いっぱい! ともしびバラエティ劇場

1部 むかしこばなし・伝統あそび・わらべ唄など

むかしこばなし

- ・ありとはちとくも
- ・だんごむこ
- ・サル仲裁
等

伝承遊び

- ・三月三日のもちつき
- ・おちゃらかほい
- ・だるまさんがころんだ
等

わらべ唄など

- ・どじょっこふなっこ
- ・とおりゃんせ
- ・鈴と小鳥と私
等

2部 オペレッタ「きつねの水あめ」

作：おおの ゆきのり 作曲：井上 正志

狂言「ぶす」一休さんのおなじみのお話を下敷きに、だましだまされる人と人。だましていたつもりがだまされていた。

そんな姿をちょっぴり風刺、人と人、人と自然

太郎と次郎は父上のお使いで一山向こうのおばさまに大事な贈り物を届けます。

きつねに出会いからかわれながらもおばさまの家に。

留守番を頼まれますが「こーん」は恐ろしい毒だから壺に近づくなと、山盛りの仕事を押しつけられます。

好奇心旺盛な次郎は水あめであることを見つけ二人で食べてしまいます。

お詫びに死んでしまおうとコーンを食べたが死ねなかったとおばさまをだまします。

だましてやったと大笑いの二人、互いの顔が泥まみれ。

きつねにだまされたことに気づく二人。

人間達の争いも自然界の手のひらの上、自然の中で生きている私たち人間であると改めて思うこの頃です。

日本の古くから伝わる良いもの、和のもの、笑いっぱいの人と人がつながる輪を広げよう！
和 輪 笑いっぱい ともしびバラエティ劇場



上演時間：60分

オペレッタ劇団ともしびは、1968年から、誰にでも楽しめる音楽劇、ちょっぴり風刺の効いたオペレッタ(軽喜歌劇)公演活動を続けています。ともしび音楽企画・うたごえ喫茶ともしびとともに、子どもから大人まで、元気に生き合う力を!と60年を超える活動を続けています。

主な作品

オペレッタ劇団ともしび:「金剛山のトラたいじ他」(関矢幸雄構成・演出)「おもしろどんどん」

ともしび音楽企画:「ナメちゃんの あったかわいらいライブ」「パネルシアターコンサート」

うたごえ喫茶ともしび:東京・新宿店 出前うたごえ喫茶年間200カ所余